

2015年11月17日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会御中

弊社の動物実験に関する方針について

キッコーマン株式会社  
コーポレートコミュニケーション部

拝啓 貴会におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

過日、弊社社長 堀切功章宛にご質問をいただいております、弊社の動物実験に関する方針について、ご連絡申し上げます。

弊社では、かねてより、中期的な研究開発に関する体制および設備の検討を進める中で、段階的に動物実験を縮小し、動物を使わない実験方法の導入を進めてきましたが、動物を使用せずに一般食品の安全性を担保出来る体制が整ったため、このたび、動物実験に関する方針を決め、本日11月17日、下記の通り、弊社ホームページに方針を掲載いたしました。

敬具

記

(弊社ホームページに掲載した動物実験に関する方針)

キッコーマンは、商品の安全性を第一に考え、さまざまな角度から安全性を評価し、商品の開発をおこなっております。

これまでキッコーマンは、その時点で他に確認方法がない場合、やむを得ず動物実験を採用してはいましたが、関連する基準やガイドライン\*を厳格に守り、最小限の試験にとどめてまいりました。

現在では、商品等の安全性確認の際に生物学的手法を用いる場合は、動物実験代替法を活用し、動物実験は実施しておりません。

但し、社会に対して安全性の説明責任が生じた場合や、一部の国において行政から求められた場合を除きます。

\*日本の「動物の愛護及び管理に関する法律」をはじめ動物実験の国際的な倫理原則である3R。3Rとは、「①動物実験に代わる方法を検討します (Replacement)、②やむを得ず動物で試験する必要がある場合には、最小限に留めます (Reduction)、③その場合は、動物への苦痛を最小限に留める手法を選択します (Refinement)」です。

以上